

## 琉球ゴールデンキングス運営会社とユーグレナ社との資本提携について ～沖縄をもっと元気に！ 両社の協働でさらなる沖縄地域振興へ貢献～

沖縄バスケットボール株式会社  
株式会社ユーグレナ

Bリーグ「琉球ゴールデンキングス（以下「キングス」という）」の運営会社である沖縄バスケットボール株式会社（本社：沖縄県沖縄市、代表取締役社長：木村達郎、以下「沖縄バスケットボール社」と、株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲充、以下「ユーグレナ社」）は、このたび、沖縄バスケットボール社がユーグレナ社を第2位株主として迎え入れ、沖縄地域振興に向けた協働を目指していく資本提携（以下「資本提携」）を行うことのお知らせします。

### ■琉球ゴールデンキングスとユーグレナ社について

沖縄バスケットボール社は、Bリーグ※1で絶大な人気を誇るキングスの運営会社であり、キングスは、Bリーグ前身のbjリーグ時代にはリーグ最多となる4回のリーグ優勝を遂げ、現在はBリーグの1部西地区に所属しており、2017-2018シーズンには地区1位となるなど、数々の実績を誇るリーグ屈指の有力チームです。※1：2016年秋に開幕したプロバスケットボール新リーグ。

ユーグレナ社は、微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ、以下「ユーグレナ」という）の食用屋外大量培養技術をコア技術とし、ユーグレナに関する多様な研究開発活動を行うとともに、ユーグレナを活用した機能性食品・化粧品等の製造販売を行うヘルスケア事業、およびユーグレナを活用したバイオ燃料開発等を行うエネルギー・環境事業を展開しております。

### ■今回の資本提携について

沖縄県石垣島にユーグレナの生産拠点を置くユーグレナ社は、同じ沖縄県を本拠地として「沖縄をもっと元気に！」という理念を掲げるキングスに共感し、2010年よりキングスのオフィシャルパートナーとして活動を支援してきました。また、離島開催としては初となるbjリーグ公式戦※2とBリーグ公式戦（右記図1参照）※3を石垣島で実現するなど、様々な協力関係を築いてきました。

※2：2012年から開始し、2016年まで計5回実施。※3：2018年実施。

今回の資本提携を通じて、沖縄バスケットボール社とユーグレナ社は、キングスの若年層を中心とした観客層及びブランド力と、ユーグレナ社が持つ経営基盤を組みあわせながら協業を進め、「沖縄をもっと元気に！」「人と地球を健康にする」という両社の経営理念の実現を共に目指してまいります。

今回の資本提携を受けて、沖縄バスケットボール社代表取締役社長の木村達郎は、「ユーグレナとキングスは石垣島での公式戦開催等を通じて協働して参りましたが、今まで以上に連携を深め、また数多くの支援企業の方々、そして何よりも無数のファンの皆様と一緒に、より一層『沖縄をもっと元気に！』してゆけるように共に邁進します。」と、述べています。また、ユーグレナ社代表取締役社長の出雲充



図1：石垣島でのBリーグ公式戦ボール贈呈式（2018年）の様子

は、「長らく応援してきたキングスと資本提携することとなり、大変光栄に感じています。今後より緊密な連携を図ることで、沖縄の地域振興への貢献と沖縄におけるキングスとユーグレナのさらなる飛躍を実現していきます。」と、述べています。

## ■資本提携の概要

ユーグレナ社は、沖縄バスケットボール社の現株主であるスポーツ・イノベーション株式会社を 2019 年 4 月 1 日付で吸収合併※4 することで、沖縄バスケットボール社の普通株式（持分割合 23.0%）を取得し、第 2 位株主となる予定です。※4：詳細は、ユーグレナ社適時開示リリース（2019 年 2 月 22 日公表）を参照。

## ■各社の概要

### <沖縄バスケットボール社>

沖縄を本拠地とするプロバスケットボール・チーム「琉球ゴールデンキングス」の bj リーグ新規参入決定を受け、キングス運営会社として 2006 年に発足。2007/2008 シーズンより bj リーグに参戦し、2008/2009 シーズンで初優勝、bj リーグ時代通算でリーグ最多となる 4 回のリーグ優勝を達成（右記図 2 参照）。現在は B リーグの 1 部西地区に所属し、2017-2018 シーズンには地区 1 位となるなど、数々の実績を誇る。2020 年以降は沖縄市に竣工予定の 1 万人規模を収容するアリーナをホームアリーナとする予定。



図 2：bj リーグ 2015-2016 シーズン優勝の様子

### <ユーグレナ社>

2005 年に沖縄県石垣島においてユーグレナの食用屋外大量培養に世界で初めて成功して以来、石垣島にユーグレナの生産・研究拠点を構え、石垣島におけるユーグレナカップバスケットボール大会（右記図 3 参照）や小・中・高校における理科実験教室の開催、ユーグレナモールやユーグレナ石垣港離島ターミナルのネーミングライツ取得など、沖縄県における地域スポーツ・教育振興、観光誘致の促進や雇用の創出などへの寄与を目指して、様々な活動を推進。ヘルスケア事業においても、沖縄県内のスーパーやコンビニエンスストアなどを通じてユーグレナ商品を展開するとともに、石垣島においてユーグレナを用いたメニューを提供するカフェ「ユーグレナ・ガーデン」を運営。グループ会社のうち 2 社（八重山殖産株式会社、竹富エビ養殖株式会社）は沖縄県に本社を置く。



図 3：ユーグレナカップバスケットボール大会の様子

以上